

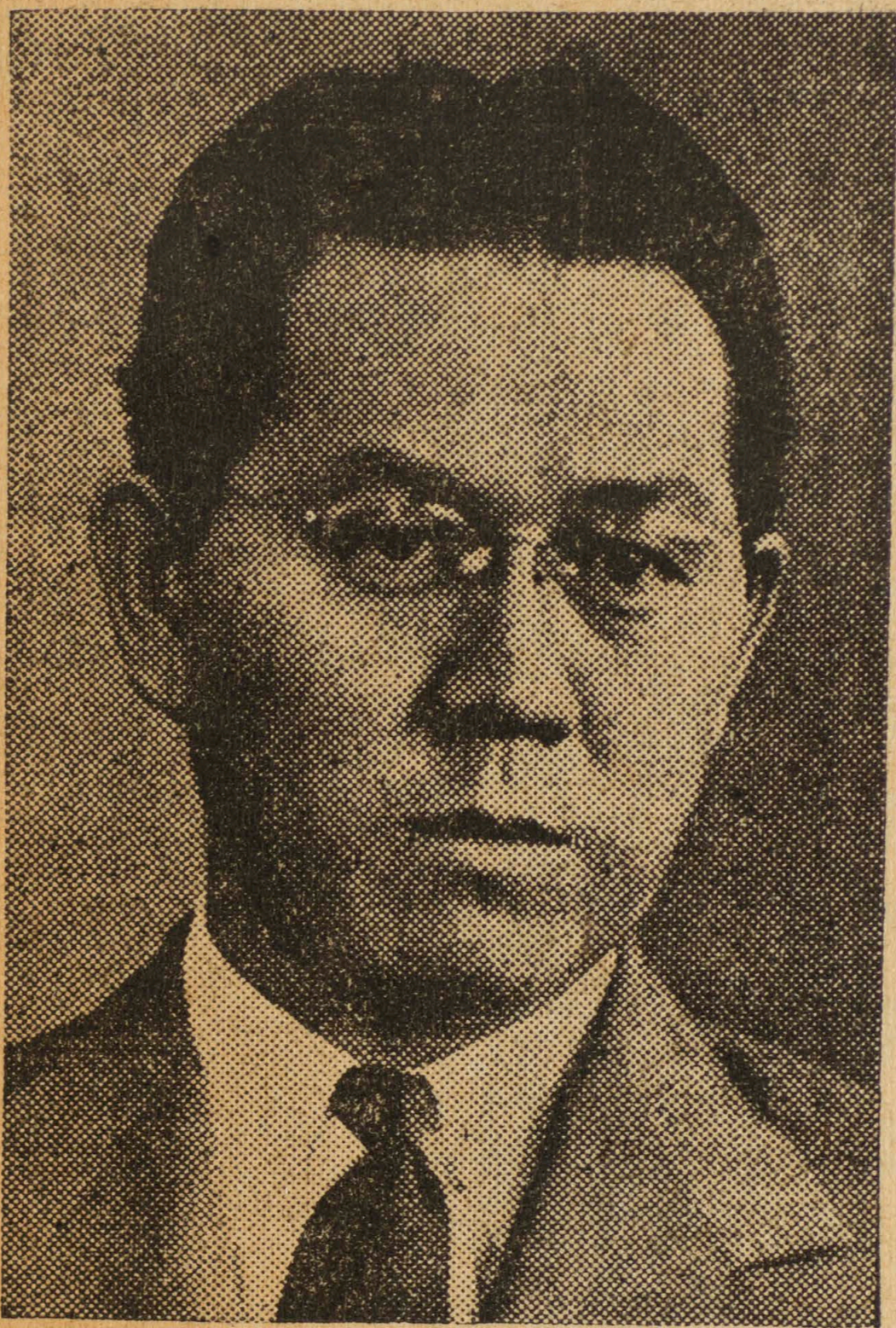
ドクトル 藤井功一氏

愈明日より開業

南キング街に理想的醫院

過去五ヶ年間實地研究

OCT 27 1941



南キング街一九一四マカレ
一 近くに醫術開業するため
去る二十五日サタデー午後
六時半より料亭歡樂にて盛
大なる披露宴を催した、出
帯者内外人四百數十名の多
數にて定刻となる頃ドクト
ル一本杉隆一氏の司會にて
左の順序にて第一式を終り

當市カリヒの重鎮にて商店
を経営しつつある藤井熊次
氏夫妻の二男ドクトル藤井
功一氏は南キング街一九一
四プメハナ街突當りモルモ
ン・チヨイチ隣の地所家屋
を一萬數千弗にて購入し、
理想的醫院に改造し、愈々
明二十八日火曜日より開業
することとなつた、功一ド
クトルは一九二七年マツキ
ンレー及び布哇中學校卒業
後大陸のレーブランド大學
に學び、更にクレートン大
學醫科に入學、一九三六年
目出度く卒業し、アイオア
州モーシー病院に一ヶ年實
地研究、翌年一寸歸布し、
再び渡米しアリゾナ、ガン
トランド・シオリ會社の

顧問醫となり、その後リー
チメン病院及びヴァジエア
病院に各一ヶ年宛研究し、
昨年九月歸布して日本人病
院に奉職、今夏優秀なる成
績にて開業試験に合格した
同ドクトルは過去五ヶ年間
實地研究に富み將來を囑望
された新進ドクトルである
尙ほ令弟武雄ドクトルは目
下クイン病院に奉職中であ
る、因に嚴父藤井熊次氏は
廣島縣大竹町の出身である
(寫眞は藤井功一ドクトル)

盛況呈した

開業披露宴

四百數十名の出席

當市カリヒカイ藤井商店主
熊次氏夫妻二男功一ドクト
ルは愈々來る二十八日より

P253, 003

六千弗以上住宅 建築の制限

ライト聯邦に

優先資材局で六千弗級以上の民間住宅に對して國防住宅としての建築を制限してゐるとの説が行はれて居り頻々として問ひ合せがあるのに對して優先申込の検査に當つてゐる當地合衆國住宅局のジェー・ストウエルライト局長は絶対にそうした制限は無いと左の如き否定意見を發表した

「余の知る限り目下の處優先資材局で國防住宅に對し

て土地と共に六千弗以上の住宅を制限などしてゐる建築材料の入手出来る價格等級に關係なく繼續される、併し非國防住宅材が何時迄入手出来るか豫斷し得ない、現在でキヤスト・アイン・パ、は品薄であり、水道、具及金具類は次第と品告げてゐる爲高價の住宅は下火となつた傾向がある、當地の建築材料商

救護班だより

缺席するな

日本人聯合協會への入報に依ると各班の講習會で缺席する人がソロ／＼出て來てゐるとのことである、講習會は大部分進んで後はもう少しである、努め勵めよ講習生諸氏！

明晩より共立 日本語學校で

カカアコ方面の救護班講習

佛青の救護班は講習生約六十名近く、毎回熱心に講師を受け付けてゐる

は過去一ヶ月間カカアコ日本語學校にて開催中であつたが、明火曜日晩よりカカアコ・アラバイ共立日本語學校に場所變更

各救護班の講習日時

各救護班の講習期日、時間一覽表

△カリヒ日本語學校、毎週火、金曜の兩夜、八時十

五分より

- △金刀比羅神社、毎週金の兩夜七時より
- △パラマ日本語學校、木曜日晩八時より
- △日本人病院、毎週火の兩夜、七時三十分
- △佛青會館、毎週火、

大洋丸の廻

在米同

27 龍田丸

臨時配船龍田丸は去る日當地解纜桑港に向つ同船は桑港着の上、日りの船客を降ろして、からの歸朝者を收容す